

令和4年7月8日

学校関係者評価委員会報告書

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校
自己評価委員会・学校関係者評価委員会

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された令和3年度自己評価報告書に基づき学校関係者評価を実施したので、以下の通り報告いたします。

記

1. 日 時：令和4年5月31日（火） 19：30 ～ 21：00

Zoom ミーティングでのオンライン開催

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

<委員長>

進藤 正信 （天使大学・教授）

<委員>

有坂 一男 （医大前歯科診療所・院長）

新岡 百合香 （医療法人仁友会 日之出歯科診療所・歯科衛生士 士長）

齋藤 紫穂 （医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所・歯科衛生士 士長）

本田 みなみ （同窓会副会長 夜間部2期生）

4. 事務局

吉田 重光 （北海道歯科衛生士専門学校・校長）

中村 麻希 （北海道歯科衛生士専門学校・教務部長）

益田 友美 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務主任）

菅原 和美 （北海道歯科衛生士専門学校・夜間部教務主任）

安藤 貴美 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務副主任）

吉田 香 （北海道歯科衛生士専門学校・事務長）

5. 学校からの説明

令和3年度自己評価報告書について

6. 学校関係者評価委員による評価結果

項 目	評 価
<p>基準 1 教育理念・目標</p>	<p>○教育理念・目的・育成人材像は明瞭に定められ、臨地実習等の実践的なカリキュラムを組むことで、本校の目標とする即戦力としての人材を育成することが可能となっていることは、高く評価される点である。</p> <p>○季刊で「北衛だより」を発行し、教育理念などの学生・保護者への周知を行っていることは評価できる。</p> <p>○社会・歯科業界のニーズについては、実習先からの情報など現場から情報収集をおこなっているが、将来的な方向性について国内外の学会参加等により up to date な情報収集が求められる。</p> <p>○海外の歯科医療について知る機会は少ないので、学校で触れる機会を設けているのはよいと思う。</p>
<p>基準 2 学校運営</p>	<p>○理事会を中心とした学園運営方針の策定、これに伴う事業計画の立案、事業計画の達成度についての報告も行われ、適切に運営されていることが示されている。</p> <p>○「北衛だより」季刊発行・保護者説明会の実施やホームページを中心とした積極的な情報公開は評価できる。今後は、紙媒体やホームページ以外の SNS を用いた情報発信についても検討されたい。</p> <p>○情報システムを用いた業務の効率化については端緒についたばかりであり、今後の発展が望まれる。</p>
<p>基準 3 教育活動</p>	<p>○新カリキュラムの導入を図り、重複した講義内容の整理・統一により、学生の授業の理解度の向上が図られており、さらに令和 4 年度からのカリキュラム再改定に向けた取り組みを行っており、教育理念に沿った体系的なカリキュラムの編成を進めていることは評価できる。</p> <p>○卒業後の進路として、歯科医院以外で働くイメージを持ちにくいので、学生のうちに企業等で歯科衛生士の資格を活かして働いている人の話を聞く機会があるのはメリットがある。</p>
<p>基準 4 学修成果</p>	<p>○国家試験の合格率が、今回再び 100%に戻ったことはもちろんだが、そもそも開学以来ほぼ 100%を維持しているのが素晴らしい。</p> <p>○退学率の軽減に関しては、毎年一定数の退学者が出ることは仕方がないが、担任二人体制や保護者との連携を図っているとのことで、改善を期待したい。</p> <p>最近の傾向として、精神的なことが原因で退学に至る学生も増えているとのことだが、実習先においても以前に比べると繊細な学生が増えているのを感じる。実習先での出来事が原因で退学に結びついてしまうこともあると思うので、学校と連携して情報を共有しあいながら、学生への対応を考えていきたい。</p>

	<p>○同窓会が発足し講習会や研修会を定期的を開催することが予定されており、卒業生および在学生のキャリア形成への効果が期待される。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>○各学年で担任2人制をとることで進路・就職に対する支援や学生相談について十分な改善策を設けていることは評価される。さらに、日本学生支援機構などの外部奨学金の積極的紹介に加えて学園独自の奨学金制度を発足させ経済的な支援を行っていることは大いに評価されるべきと考える。</p> <p>○卒業生への支援体制については今後の課題であるが、学校としてホームページの情報の充実を進めていってほしい。</p> <p>同窓会に入るメリットが今のところ不明瞭な部分もあるので、卒業生にアンケート等を取って、今後の活動運営の参考にしてみてもどうか。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>○学内の教室・実習室等は十分な環境を維持しているが経年劣化に対する補修等が今後必要になることも考えられ、この点に関する備えが必要と思われる。</p>
<p>基準7 学生募集</p>	<p>○毎年定員を満たせるように、積極的な学生募集を行って、成果が出ることを期待している。</p>
<p>基準8 財 務</p>	<p>○情報公開を適切に行っている。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>○個人情報の保護対策に関しては、引き続き整備に期待したい。</p>
<p>基準10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>○学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献は、施設使用依頼や講師依頼が少ないため有効活用ができていないが、施設や公開講座の告知方法を工夫することで地域・社会への認知度を高めることが必要と思われる。</p> <p>○学生のボランティア活動の支援については、新型コロナウイルスの影響でボランティア依頼がない状態が続き、学生も生活に追われてボランティア活動をする余裕がないことは残念だが、感染が終息した際には歯科保健指導の再開を目指したい。</p> <p>○地域貢献については、今後の将来的な展望として、歯科検診に絡めて学校として何かできないか、模索していても良いのではないかと。</p>

以上